

1. < 施策の概要 >

基本理念	快適な暮らしを支える充実した居住環境のまちづくり	統括課	事業部 建設課
基本方針	基盤整備(道路・河川)		
施策名	基盤整備(河川)	関連課	
方針・目標等	◆主要河川の整備。◆水路の整備。◆河川環境整備の推進。		
実施内容	◆河川整備(準用河川煤谷川、菅井雨水路、九百石川雨水路)。◆水路管理について、関係自治会や農事従事者による地域での管理。		

2. < 指標の設定 >

重点	指標名	単位	他団体比較		算式・引用等			
			団体名	実績/年度				
①	浸水対策実施率(準用河川煤谷川)	%			整備済み延長/ 全体計画延長			
②								
③								
④								
⑤								
			H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(試算)	H24(試算)
①	目標		71.0	76.0	85.0	89.0	91.0	96.0
	実績		69.0	72.1	79.0	89.8		
②	目標							
	実績							
③	目標							
	実績							
④	目標							
	実績							
⑤	目標							
	実績							

3-1. < 指標から読み取れる成果と課題 >

・河川の整備率については一定成果は上がっているところである。
 ・橋梁の耐震化については、21年度から国の補助金で町内の車道橋23橋(15m以上)の長寿命化の調査を行う中で、耐震性についても検討をする必要がある。

3-2. < 住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点 >

・河川、水路整備については、安全・安心のまちづくりから必要不可欠な事業として取り組んでいるところであるが、整備延長が長くまた相当な事業費が掛かることから整備に時間を要するものである。
 ・橋梁の耐震補強については、近隣自治体もまだ取り組んでいない状況にあり、本町についても同様であるが、15m以上の橋長の橋が23橋あるが、大型地震に備え耐震補強を行う必要がある。

4-1. <施策を構成する事業>

	重点	部門 /事業名 /種別/決算書説明頁	事業費(人件費含む)/事業費のみ/事業費一財 <単位:千円>					
			H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(予算)	H24(試算)
1	○	建設課	-	-	320,097	260,061	161,155	126,155
		煤谷川河川改修事業(準用河川区間)	214,170	168,666	306,675	239,906	141,000	106,000
		投資的事業 191	-	-	0	0	115,000	106,000
2	○	建設課	-	-	39,749	21,249	41,096	41,096
		公共下水道事業特別会計雨水線出金	18,315	16,713	34,634	17,976	37,823	37,823
		一般事業 197	-	-	34,634	17,976	37,823	37,823
3		建設課	-	-	1,078	1,046	2,093	2,093
		道路橋りょう総務事務費	460	666	581	645	1,692	1,692
		一般事業 185	-	-	581	645	1,692	1,692
4		建設課	-	-	1,238	2,215	1,650	1,650
		橋りょう維持管理事業	-	-	661	1,575	1,010	1,010
		一般事業 191	-	-	411	1,575	1,010	1,010
5		建設課	-	-	762	515	1,082	1,082
		河川総務事務費	335	274	266	114	681	681
		一般事業 191	-	-	266	114	681	681
6		建設課	-	-	14,105	8,280	12,754	12,754
		河川維持管理事業	11,320	8,560	11,329	6,842	11,316	11,316
		一般事業 191	-	-	11,329	6,842	11,316	11,316
7								
8								
9								
10								

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・河川整備では、平成6年度より事業着手を行い、準用河川として指定を行う中で一定整備が進んでいる状況にあり、平成25年度完成を目処に進めているところである。・雨水路建設事業では、長年懸案であった用地取得が完了したところであるが、今後市街地の雨水路建設に着手すると共に、府道、JR線部で浸水被害がある箇所早期解決を図る必要がある。・河川維持、水路維持管理並びにポンプ場維持管理の経費は経常経費であり、水路維持については、地元関係者で維持管理を行ってもらっている状況にある。また、ポンプ場維持管理事業では、ポンプ場建設後16年を経過していることから屋外施設の老朽化が進んでいるため今後修繕費が増大することが課題となっている。

5. <施策の今後の方向性>

・町が掲げる「安全・安心のまちづくり」の観点から、町内の河川の整備、維持管理あり方などを整理し、事業推進を図っていく必要がある。